

I 事業実施の方針

- 定例会、花輪川の作業の日程については昨年度に引き続き、原則第 2 日曜日の開催とする。又それに伴う理事会は原則として定例会直前の土曜日とし、会運営の充実と会員の団結を図って行く。
- 会報「オイコスかわら版」は本年度も年 3 回の発行を予定すると共に、HP の充実にも力を注ぎたい。
- 助成金、補助金については八千代オイコス活動資金として、本年度も引き続き八千代市「市民活動団体支援金交付制度」及び「子どもゆめ基金」を活用して行きたい。

オイコス設立より 18 年目を迎える平成 30 年度は基本事業の見直しを計り新しい展開を進めたい。

第一に印旛沼関連事業として、過去多方面に連携を結び行政・市民団体とのつながりを以って活動を行って来たが、その後連携先の活動の停滞や行政の組織変化に伴い活動が立ち消えとなったものも多く、それらの結びつきの整理を行いたい。

第二に「川の学校」は 11 回を数え、“川で遊び、川に学ぶ”の自然教育はしっかり定着した。一方、本年は神久保から島田谷津に活動を移し、従来の「田んぼの会」の充実を図る企画を据えた。これらは今後のオイコスの指標を＜子ども達の地域教育の場＞作りとしての重点方針として進めて行きたい。

第三に例月の川作業の内容を計画的な活動として進める。

第四に会員の目的意識向上の勉強会を計画する。

1. 地域環境の保全に係る事業を図るための自然環境調査・評価事業

(1) よみがえれ花輪川事業 <印旛沼の環境を良くする活動を基本理念とする>

- ① 川作業の年間プログラムを立て、この為の推進担当を設定する。
- ② ヤナギモ等の水草の復活促進を計画。
- ③ 例年に引き続き、花壇・遊歩道の整備を実施。市民の為の遊歩道として側道的美観活動を行う。
- ④ 定例川作業時に水質検査（簡易な検査）を行い記録を管理する。

2. 自然 環境に関する意識開発のための教育支援事業

(1) 川の学校 in 花輪川

- ① 八千代市、教育委員会、学校と連携を保ち協力を要請して行く
- ② 大学生（ボーイスカウト）、NPO 法人水環境研究所との連携を図る。

(2) 春、秋のエコウォーキングの継続。

昨年のチームを主に内容の検討、企画をすすめる。

3. 地域のホテルの棲息環境の保全・観測調査

(1) 石神谷津に於いて 8 月 4 日（土）ホテル観賞会を実施。

(2) 八千代市「ほたるの里づくり実行委員会」の運営にオイコス会員数名が参画。

4. 休耕田の有効利用事業

(1) 米づくり

神久保で長年モチゴメの耕作を続けたが、島田谷津の保全も兼ねて農業などについて学び体験する場とする。

今年は 9 校の小学校にチラシを配布、20 組 40 人の親子を募集する。

5. まちづくり活動に係る行政、諸団体との協働及びネットワーク構築事業

(1) 千葉県、八千代市行政との協働

千葉県環境生活部県民交流・文化課、八千代市環境保全課など関係各課と連絡を取りながら予定された事業を展開して行く。

(2) 八千代市市民活動サポートセンター、八千代市ほたるの里づくり実行委員会との連携

「市民活動フェスティバル」及び「地域デビュー講座」等に協力するとともに、ほたるの里づくり実行委員会の開催する事業、市民連合会にも引き続き積極的に参加して行く。

(3) 市民活動団体との連携

千葉県及び八千代市で活動する市民団体とも協力し、それらの主催するイベントには必要に応じて参加してゆくこととする。

以上